

宮川水系 濁川・下津又川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

1 説明文

- (1) この図は、宮川水系濁川・下津又川について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の濁川・下津又川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.0%））の降雨に伴う洪水により濁川・下津又川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体：三重県
- (2) 公表年月日：令和4年7月26日
- (3) 公表の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
- (4) 対象となる河川

・宮川水系濁川
 検討対象区間 左岸：三重県多気郡多気町車川字滝ノ向から宮川合流点まで
 右岸：三重県多気郡多気町車川字奥垣内から宮川合流点まで

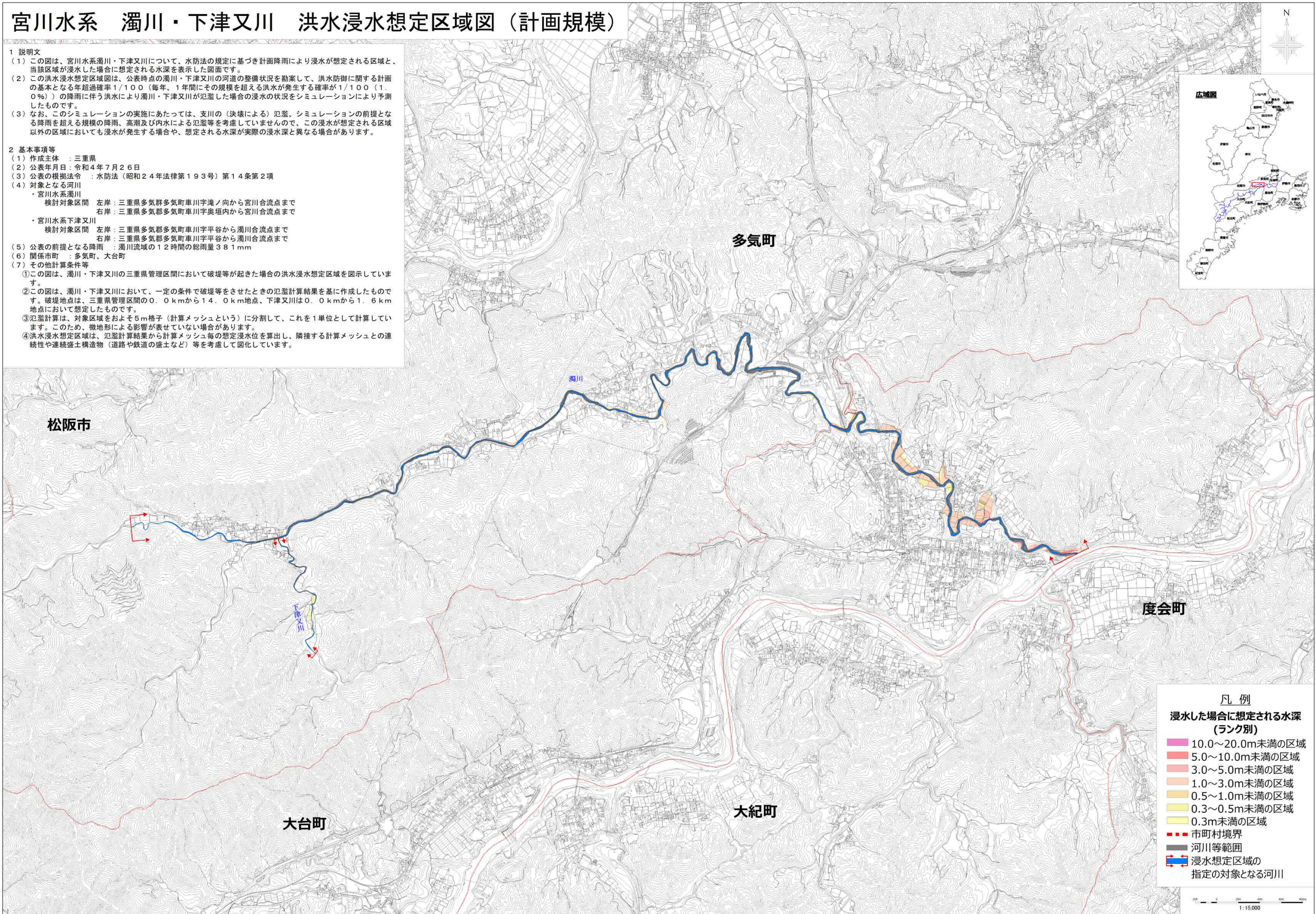
・宮川水系下津又川
 検討対象区間 左岸：三重県多気郡多気町車川字平谷から濁川合流点まで
 右岸：三重県多気郡多気町車川字平谷から濁川合流点まで

(5) 公表の前提となる降雨：濁川流域の12時間の総雨量381mm

(6) 関係市町：多気町、大台町

(7) その他計算条件等

- ① この図は、濁川・下津又川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。
- ② この図は、濁川・下津又川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、三重県管理区間の0.0kmから14.0km地点、下津又川は0.0kmから1.6km地点において想定したものです。
- ③ 氾濫計算は、対象区域をおよそ5m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
- ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 10.0～20.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 1.0～3.0m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.3～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川

この地図は三重県河川総合管理センターの委託を受けて、国土院の「国土院河川総合管理センター」が作成したものである。©2022 国土院河川総合管理センター。本図を複製または転載して公衆に提供することを禁ずる。同様の承認を必要とする。